

事業所名

そら豆キッズ【児童発達支援】

支援プログラム

作成日

7年

1月

31日

法人（事業所）理念		『ひとりひとりひかる』 人は皆、ひとりひとりに「違い」があります。その「違い」は、その人全体の価値を決めるようなことではありません。しかし、その「違い」はその人がその人らしく生きていくうえで、「障害」となることが多くあります。私たちは、「障害」がその人にあるのではなく、その人が生きる社会にあるのだと考えています。 私たちは、どんなに大きな「違い」があろうとも、その「違い」を認め、それぞれの自己表現を尊重し、できる限り楽しく、豊かに生きていけるための活動を行います。その活動を通して「人が人を理解する」ということの意味を考え続け、どんな人も受け入れて、共に生きる地域づくりを目指します。							
支援方針		子どもたちが、「わかる」「できた」「やりたい」と思えるよう、発達状況に応じた様々な遊びや活動を提供していく中で、他者との関わりや楽しい経験を積み重ね、日常生活の充実だけでなく、次のステージへ期待を持って進んでいけるよう支援していきます。							
営業時間		月～金曜日	9時	30分から	13時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		月曜日	13時	30分から	15時	30分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	発達段階や障害特性、支援の量などに配慮し、食事や衣類の着脱、排泄など生活に必要な基本的技能の練習。 理解が進み、様々な遊びや活動に楽しく参加できるよう、生活環境/活動環境を整える。							
	運動・感覚	姿勢保持や生活動作、道具の扱い方、模倣する力などが向上できるよう、活動内容及び提示方法の工夫、道具の調整などを行う。 感覚の特性に配慮した、環境等を調整する。							
	認知・行動	興味を持って参加していく中で認知発達が促されるよう、遊びや活動の設定などを行う。 基本の概念やスキルの習得に向け、個々の課題に留意しながら、自立課題や活動の設定などを行う。							
	言語 コミュニケーション	個々の発達段階や障害特性等に合わせた、指示や提示を行い、言語理解を促す。 言語の獲得や絵カード等の視覚的なツール、サインなど、個々のできる方法で適切な表出(要求、救援、拒否、選択など)ができるよう、個々の発達段階や障害特性等に合わせた支援を行う。							
	人間関係 社会性	他児や職員との関わりの中で、様々な遊びや活動、関わりを経験できるよう促す。 遊びや集団活動に参加できるよう、個々の社会性の発達に応じた関わり、機会や活動の設定などを行う。							
家族支援		家庭や保育園・幼稚園、事業所の生活の中での成長や課題などを情報共有し、必要な相談援助を行う。				移行支援		保育園・幼稚園、学校、事業所との情報共有や会議への参加、保護者への必要な情報提供・相談援助などを行う。	
地域支援・地域連携		各関係機関との連絡調整及び情報共有、サービス担当者会等への参加、自立支援協議会への参加、障害児等療育支援事業への参加などを行う。				職員の質の向上		法人/事業所内の研修及び外部研修への参加、定期的な会議等の開催(支援の振り返り及び検討等)を行う。	
主な行事等		誕生日祝い、水遊び(夏季)、クリスマスイベント、季節に応じたプログラムの提供							